

支援物資はどのように活用されてるの？

花見山を守る会には全国から毎日のように支援物資が届いており、サロン「さくらの茶屋」をバザー会場に避難されている方を限定に支援物資を提供しております。震災直後は無料で配布しておりましたが支援物資が避難されている皆さんに公平に行き渡らない状態でした。借上げ住宅への避難者は行く場がない、情報が伝わらない、この不平等の解消と震災孤児へ



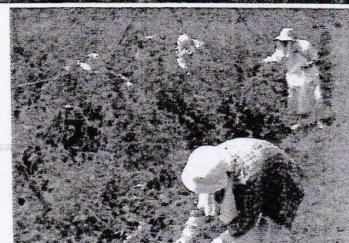
の義援金、支援活動及び復興活動の活動資金とする為支援物資を半値以下の価格で提供することにしました。

サロンとしても皆さんのが集まりやすい場所になり避難者の情報交換の場所になりました。何度も、サロンで待ち合わせしている方々を散見しております。

サロン『さくらの茶屋』では足湯や休憩スペースにて楽しくお買い物をしながら談話できる環境をつくりボランティアさんも交えながら「心のケア」にも役立てています。

今年の農園支援活動はこんなに盛りだくさん！

沢山の方々が参加してくださいました。春から夏と畑を作り始める所から色々な方が携わって頂き収穫までたどりつけました。農園支援では避難者の方々の孤立、病気を防ぐため、雇用創出の企画や収穫祭といった楽しんで農業を体験して頂いたりといった活動をしてきました。



復興商品ができました

実は、トマトの栽培、会長だけが秘密にしていたんです。このトマトがどうなるかって収穫後毎日選別していました

ハイ、トマト
こんなに獲っちゃ
ぞい（笑）
双葉仮設の皆さん



このトマトが製品化されます！
その名も「フルーツトマト甘納豆」